

検査概要

部品は用途によって複雑な形状をしており、目視検査においても見落とす場合があります。本検査装置は、複雑な形状の特殊部品を回転させ、表面を高速に検査します。不良品の検査データは、画像データとして保存し、検査後の再確認も可能です。

機能概要/特徴

- ・ 特殊形状部品の傷及び打痕を自動検査します。
- ・ 回転式で特殊形状側面及び複数台のカメラにより上下部分の欠陥を検出します。
- ・ ワークを傷つけることなく検査、品質・生産性向上に役立ちます。
- ・ 検査画像を保存する事により、トレーサビリティの役割にも最適です。
- ・ インライン化の場合は、排除信号を機構側へ出力し完全自動化の生産設備として稼働が可能です。

検査の内容

■ 装置/システム

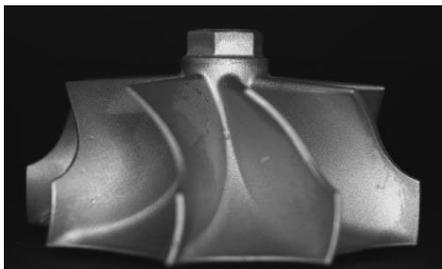
	項目	仕様
カメラ部	インターフェース	GigE Vision
	ピクセルサイズ(μm)	3.45×3.45
	解像度(H×V pixel)	2456×2058
検査処理部	処理方式	傷、打痕検出独自アルゴリズム
	測定対象物と検出内容	円筒部品底面に対する傷及び打痕
	測定精度	傷幅0.6mm以上の線傷を検出

■ 処理の流れ

撮像⇒側面をブロック分割し情報切出し⇒指定のサイズの傷、打痕検査⇒判定結果⇒良品・不良検出

■ 検査画像/処理結果

撮像データ



傷検出部

